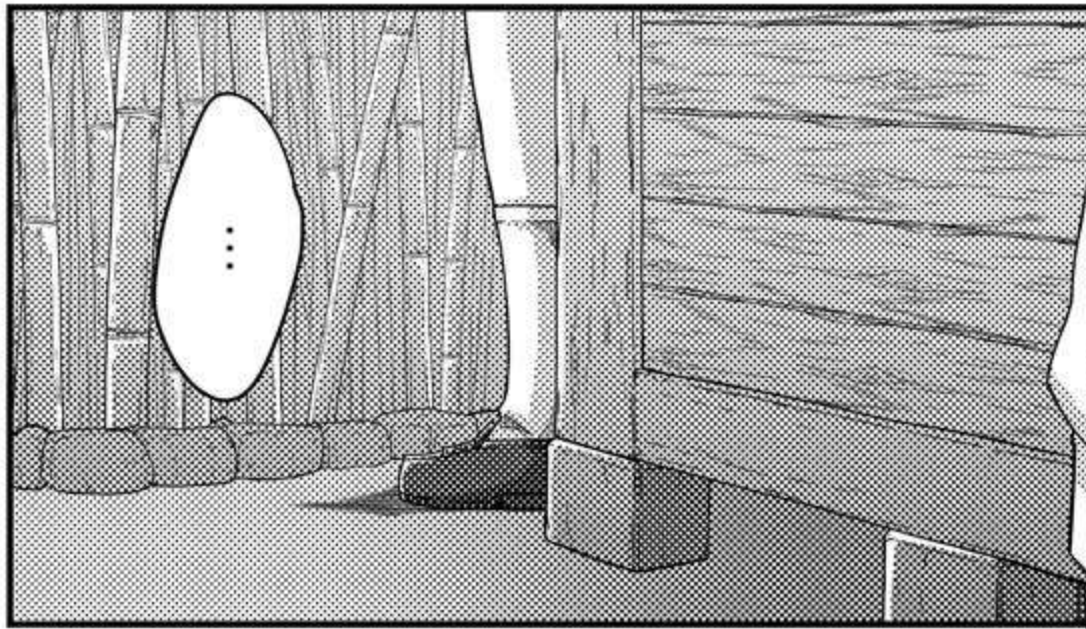
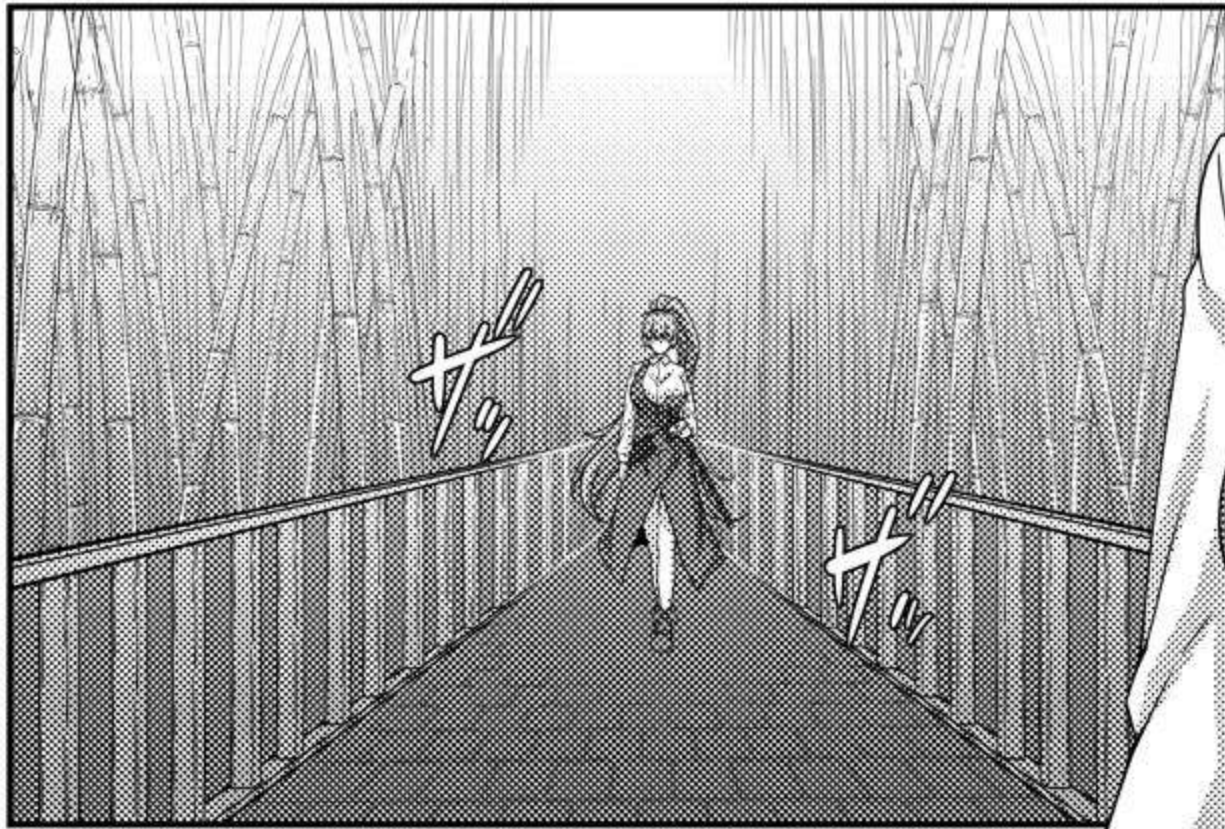


依姫様は
スキな
し？



成人向同人誌
※18歳未満の方は購入できません





依姫様...





この私の顔を知らぬとは
言わぬであろうが

何だ腰までぬかしたのか…

あわわ…

あつ…

へな…

へな…

ぴらりり

シヤキツとせんか！
小童めが！

そなたの受け答え次第によっては
容赦はせんぞ！

誰の指示による夜討ちだ！



そういうつもりだったのか…

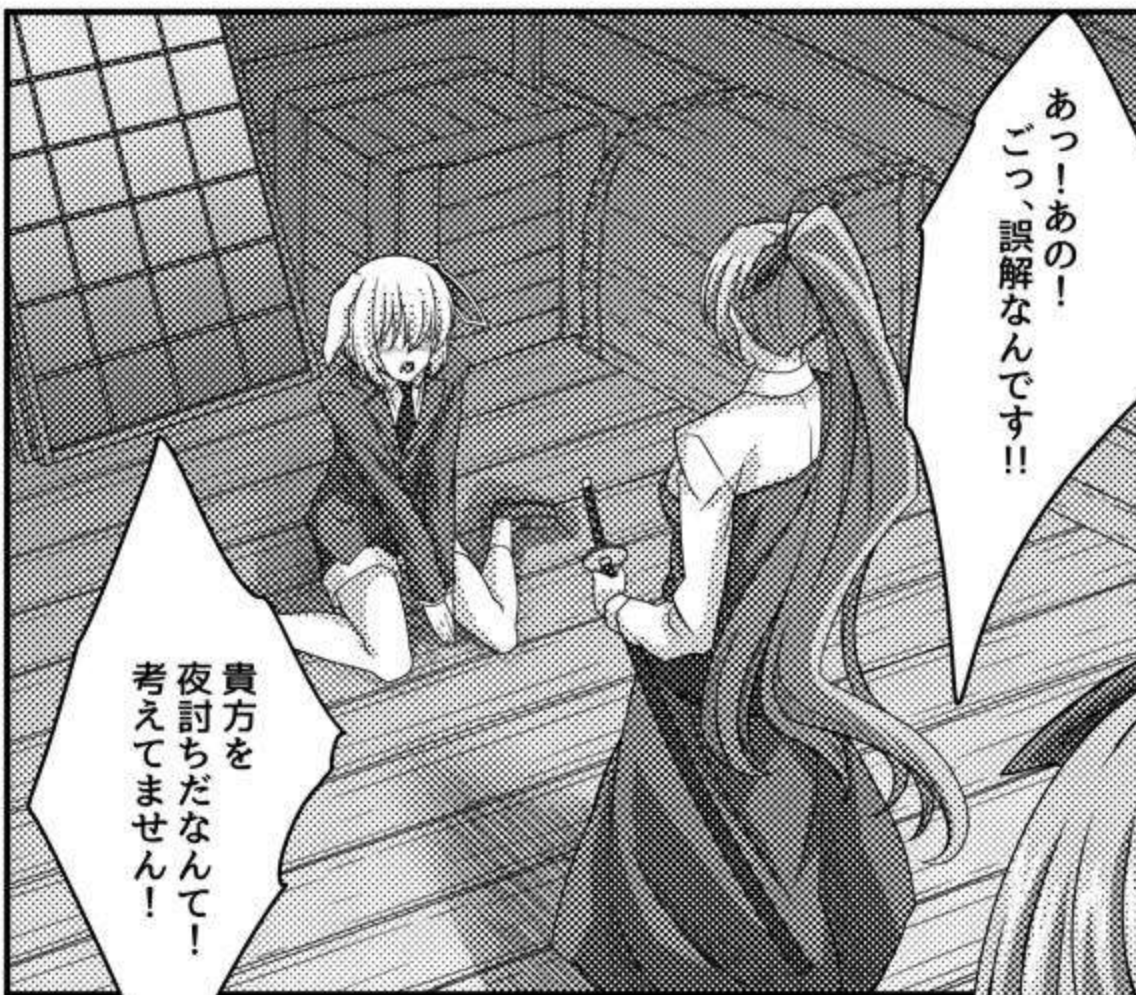
えっ!?
あつ!

ははあらん…
そうかそうか…



…聞いておるのか？

おい…
どこを見ておる…



あつ！あの！
ごっ、誤解なんです！！

貴方を
夜討ちだなんて！
考えてません！



この期に及んで
言い訳とは見苦しいぞ

言い訳なんかじゃ…
ぼっ僕はその！



はっきりせんが…

貴様の身体は
正直そのものようじゃないか



ほらほらどうだ？
貴様が打とうとしていた…

いや…
襲おうとしていた者の
身体が目の前にあるぞ？



えっ！
あつ…

ほおら…
これがしたかったんだろ？

ふっ…
ふが…

依姫…
様…

どうした？
討ち取った者と
討ち取られた者
立場が逆になって
悔しいか？

私を討ち取った後は
その身体を好きなように
弄ぶつもりだったか？

今は私が討ち取った者の側…

お前のことを
弄ぶ側という事だ…
好きなようにさせてもらうぞ

ムキ♡

はぁ♡

そんな
つもりじゃ…

おお…まだ意地を張るか
度胸だけは一人前のようだな

あわわわ…

はぁ♡
はぁ♡

んふっ…

あっ…あっ…
依姫様…そんなこと…

んんっ…

もっ…

もうそこまででー！

もう結構ですからあー！

寝ぼけたことを言うんじゃない！
今始めたばかりではないか！

貴様が夜討ちをしてまで
欲していた私の身体…

遠慮は…

捕虜に気を使うなど
私も生易しいかもしれんな

しかし今宵はよいぞ
存分に楽しませてやるとしよう

ほら…んはっ…
私の口の暖かさはどうだ？

逆に私が進んで
楽しませてやっているんだぞ？



だからしっかり楽しんで…

へはは…
やってくるじゃないか…

んぶっ!?

嫌がりながらも
しっかりと口内射精か…



もっ
申し訳…
ありません…

本当に
情けない奴だ
まだ一回いっただけ
ではないか…



私を本気に
した褒美として

最後まで
付き合ってやろう



まあいい
今ので私も
やる気が出た!

少しだけ
からかうだけの
つもりだったが…

依姫様…
どうかここまでで…

寝言は寝て言え…
今更やめられるか!

こっ…
こんなのレイ…

んぶっ!?

うるさい小童は
私の下着でも嗅いでおれ!

待って!
待ってください!

ぼっ
僕はまだ経験が!

僕の初めては…
ぼっ僕の!

んっ!んんんっ!!

童貞を奪って
しまったようだなあ…

夜討ち卑怯者の童貞…
この私に奪われて光栄に思ええ…

あつ…あつ…
中で締め付けられて…

ふふふ…

初心な娘とは
私自身思つたらんが…

お前のような
童貞を満足させることくらい
容易いことよ…

あつあつあつ!
依姫様ごめんなさい!!

なっ!?

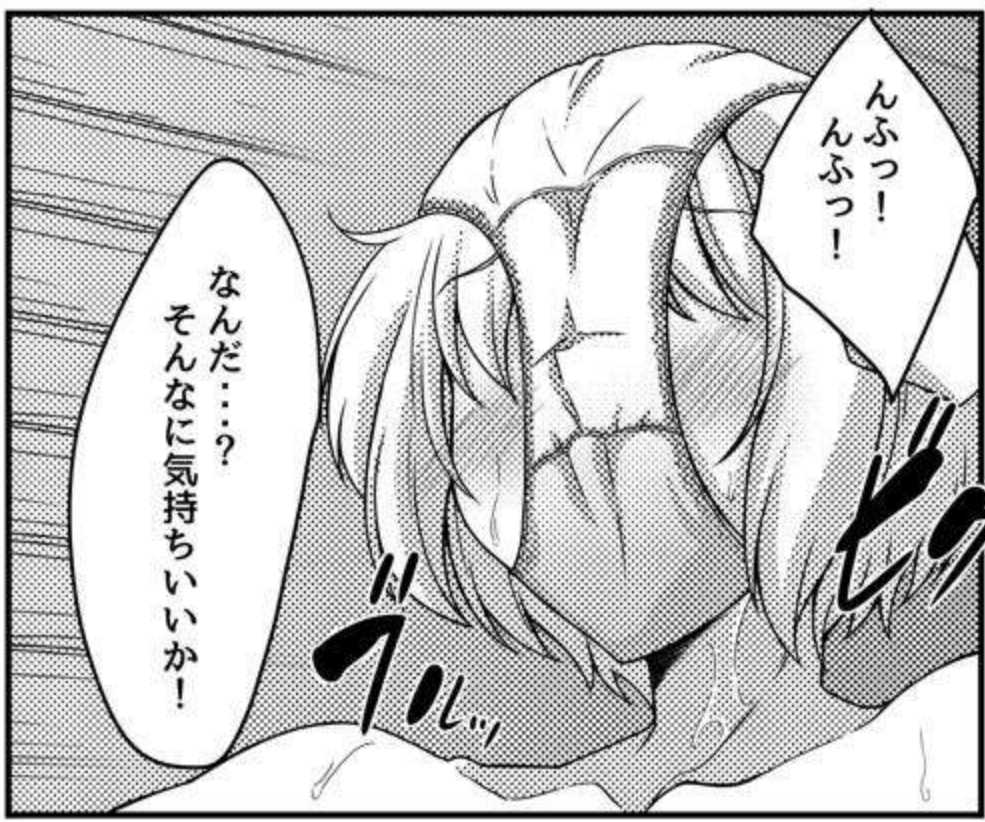
さあ…
さんさん搾って…

童貞とはいえ
これほどとは…

冗談だろう…
まだ動いてもいないぞ…

盛大に種付け
してくれたなあ…

討ち果たせなかった
腹いせのつもりか?



なんだ...?
そんなに気持ちいいか!

んふっ!
んふっ!



そうだ...
そうやって腰を動かすんだ!

んっ...んっ...

やればできるじゃないか



もっと乱暴に
突いてもかまわんぞ!



お前のような
小童に壊されるような
軟な身体はしてないからな!

好きなのだ
突くがいい!

私を楽しませてくれ!

おっほ!
良い感じに
なってきたぞ!

まあお前には
難しいかも
しれんが!

卑怯者で童貞だった
お前にしては上出来じゃないか!

お前の情けなかった
チンポも…んっ!

勇ましく
私のマンコ穴…あっ!
買こうとたぎってきてるぞ!

なかなか
気持ち良いぞお!

んぎっ!

良いぞ!良いぞ!
お前のチンポ!気に入った!

んんあっ!

私のチンポコレクションに
加えてやろうか?

私のことを癒して
満足させるためだけに
生きるんだ!

悪い話ではなからう!?

どうなのだ？
私の性奴隷となるか？
ならないのか？

あ！

そんな…
私はなれませ…ん！

小賢しい…

はっきり言わぬか！

気に食わないな…

ほっ僕は
依姫様とは
一緒には…！

黙れ！
新米玉兎のくせに
私の提案を断るといふのか！

このチンポは私のものだ！
毎晩私の寝屋に来て
この卑怯者チンポを勃たせればいいのだ！

さんさん種付けさせ
先の狼藉も
許してやろうと言っているのに…



ままだとせよ...
今日は帰れないと思え!

私はまだ満足してないからな!

こへん...

お前の希望が通るかどうか...
その最低条件として
この私を少しは満足させてみる!

はっ

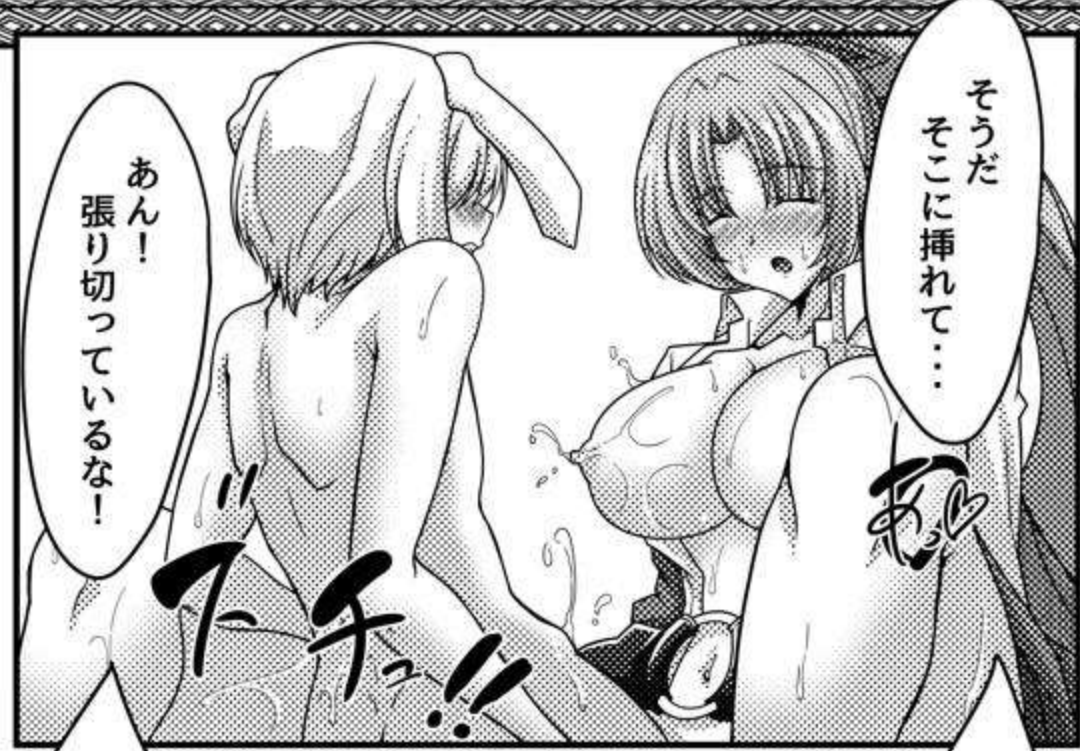
はっ



ふんっ!
ふんっ!

ふんっ!

ははっ!
いいぞその本気の顔!



そうだ
そこに挿れて...

あん!
張り切っているな!



おっ!おっほっ!

いいぞ!
いいぞお!

玉兔の端くれなら
私を満足させて！

はぁ♡

立派に種付け
してみろおおおおお！！

はぁ♡

あっ…

はぁ…

やればできるじゃないか…
少しだけだが…
満足したぞ！

5回目以降は数えてないが…
よい訓練になっただろう…

はぁ♡

はぁ♡

カホ

普段の訓練も
これくらい気合を入れるのだぞ！

ドッ



それで？
お前の言い分も聞こうじゃないか

なぜこの私を
討とうなどと考えた？

いえ…
決してそのような…

ではいったい
何なのだ？



ごっ
ご挨拶が遅れました！

私は新たに綿月豊姫様の
私設親衛隊！
兼使用人！
その隊長を務める者であります！

また
手を出してしまったああ！！

またっ!?

本日はそのご挨拶にと
あそこでお待ちしておりました！

…えっ

お姉様の…

私設…というごことは…

二人とも遅いわねえ…

入れ違いに
なったのかしら…？



原作 : 上海アリス幻楽団

発行 : Guild Plus
印刷 : 丸正インキ有限公司

Meil : super_sonico_saga@yahoo.co.jp
URL : https://twitter.com/guild_tatsuya